

# 戦評

## 北海道バスケットボール協会

大会名	第69回北海道道民バスケットボール大会														
平成29年7月17日(月) 13時30分	場所: 道立北見体育センター														
勝ちチーム名	—		負けチーム名												
フライトクラブ	79	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>28</td><td>-</td><td>6</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>9</td></tr> </table>	12	-	17	28	-	6	25	-	15	14	-	9	47 g r a v i s
12	-	17													
28	-	6													
25	-	15													
14	-	9													

<b>男子Bクラス</b>	女子	3決	準々決勝	準決勝	<b>決勝</b>
<p><b>1P</b>            フライトクラブ(以下フライト) #4 #7 #8 #10 #12、gravis(以下グラビス) #0 #2 #19 #25 #38、両チームともマンツーマンでスタート。グラビスはフライトのシューター #10へ厳しくプレッシャーをかける。フライトはガード #8のドライブからのレイアップとセンター #4のポストプレイで、グラビスは #0のドライブからのステップワークとリバウンドシュートの個人技でそれぞれ加点。両チームとも厳しいディフェンスを続ける。グラビス #25がリバウンドシュートで加点。フライトはガード #8のスピードあるドライブでチャンスを作る。グラビス 5点リードで第1ピリオド終了。</p> <p><b>2P</b>            グラビスはセンター #38の高さでディフェンスリバウンドを支配する。フライトは第2ピリオドから代わって入ったシューター #15の3ポイントが決まる。フライトはグラビスのセンター #38が交代で下がったところで、センター #4のポストプレイとリバウンドシュートで加点しリードを奪う。6分20秒、グラビスは 19-23の4点ビハインドのところでタイムアウト。タイムアウト後、フライトはガード陣のスピードあるドライブでディフェンスを引きつけ #15の3Pでリードを広げる。フライト、残り3分で10点リード。フライト #15は3P、2Pともアウトサイドシュートの当たりが止まらず、フライトが流れをつかむ。フライト 40-23 グラビスで前半終了。</p> <p><b>3P</b>            第3ピリオド開始は両チームともゲームスタートと同じメンバー。グラビスは速攻からのレイアップが決まるが、アウトサイドシュートの確立が上がらない。フライトも内外パスは良く回るがシュートが決まらない。フライトは #10のミドルシュートの加点でつないでいく。どちらも主導権をつかめない時間が続くなか、フライトが速攻と3P 2本を決め、流れをつかみリードを24点に広げたところで、グラビスがタイムアウト。タイムアウト明けもフライトは速攻が決まる。フライトはブザービーターの3Pも決める。フライト 65-38 グラビス。</p> <p><b>4P</b>            フライトはドライブからの合わせのインサイドシュートとピックアンドロールが続けて決まる。グラビスも3Pを1本返すが、後が続かない。両チームともメンバーチェンジをしつつも、流れはフライト優勢で進む。ゲーム中盤からアウトサイドのシュート力と堅いディフェンスからのスピードある速攻を出し主導権を握ったフライトが、79-47 グラビスでBクラス優勝となった。</p>					
記録者	菅野 剛	所属	北見地区強化委員会		